Panasonic®

ポータブルステレオ CD システム
取扱説明書

品番 RX-D12

付属品
□電源コード
（品番：RJA0059-J）…………1本
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
(　)内は買い替え時の品番を表します。

このたびは、ポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT5684-S

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

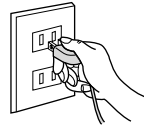
⚠警告

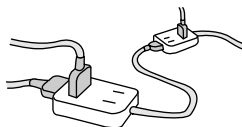
電源コードについて

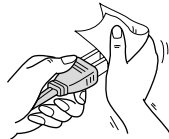
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない］

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

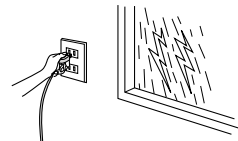
もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

雷について

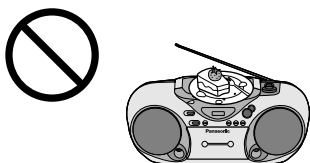
雷が鳴ったら、アンテナ、機器やプラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない

- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

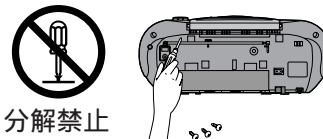
⚠警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

- 開閉時に、ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

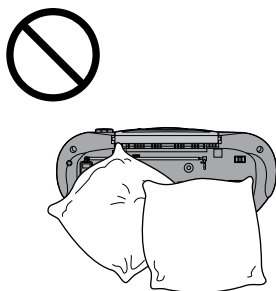
機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

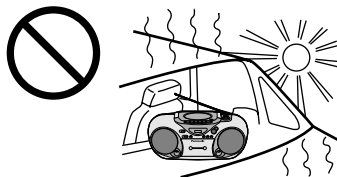
- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

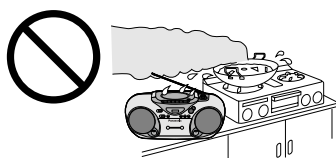
分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

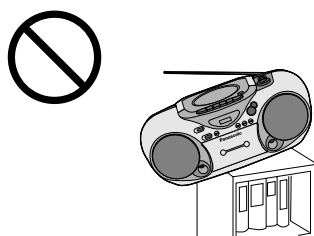
⚠注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
  後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

電池は誤った使いかたをしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱､分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として、充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全上のご注意

⚠注意

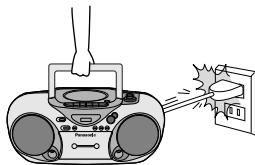
ご使用について

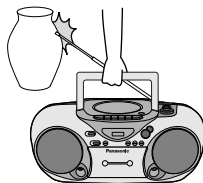
ひび割れ、変型したディスクやハート形などの特殊形状のディスクは使わない

・高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
・接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

機器に乗らない

・倒れたりしてけがの原因になることがあります。
・特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

・接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
・また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

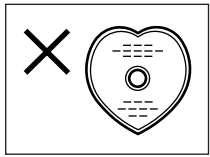
アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

・アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

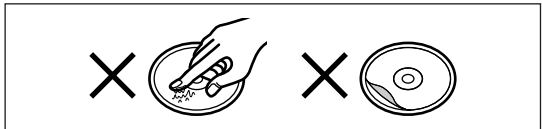
・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート形など、特殊形状のCD は演奏できない場合があります。また、演奏できる場合でも継続してご使用になると、機器の故障の原因となります。

■ 取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- **鉛筆やボールペンなどで字を書かない**
- **レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない**
  汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきをしてください。
  クリーニングクロス（品番 VUA7091：サービスルート扱い）をおすすめします。
- **傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない**
- **紙やシール、ラベルを貼らない**
- **シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCD は使わない**

テープについて

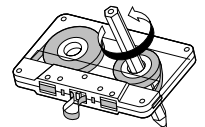
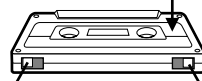
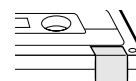
■ 100分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。
(回転部に巻き込まれることがあります)

■ エンドレステープについて

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。
必ずテープについている使用説明をお読みください。

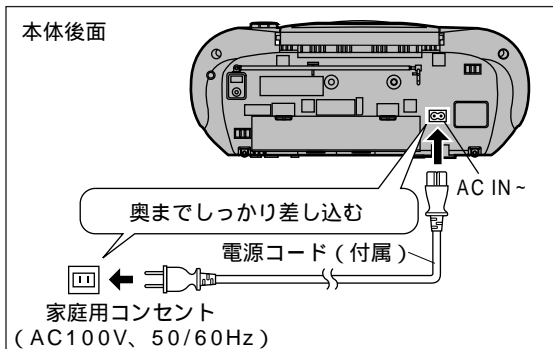
■ テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■ 録音したテープを誤って消さないために

- **もう一度録音するには**

設置上のお願い

本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

電源の準備

家庭用コンセント、または別売りの単1形乾電池（6個）で使えます。

家庭用コンセントで使う

お願い

付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

電源コードを抜くときは

テープを止め、切換つまみを**「テープ／電源 切」**に合わせて電源を切ってから抜いてください。電源が入ったまま電源コードを抜くと、メモリー用乾電池が早く消耗します。

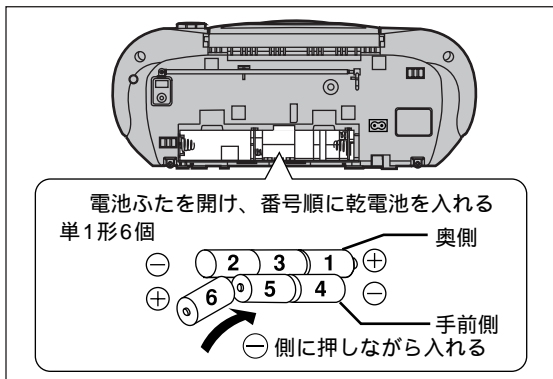
長時間使用しないときは

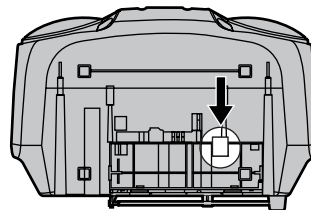
節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

ただし、メモリー用乾電池（⇨下記参照）を入れていないと、再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。

（切換つまみを**「テープ／電源 切」**に合わせて電源を切った状態でも、約0.9Wの電力を消費しています。）

乾電池（別売り）で使う

電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

■乾電池を取り出すときは

本体底面の穴に指を入れて押し出す。

■乾電池の交換時期

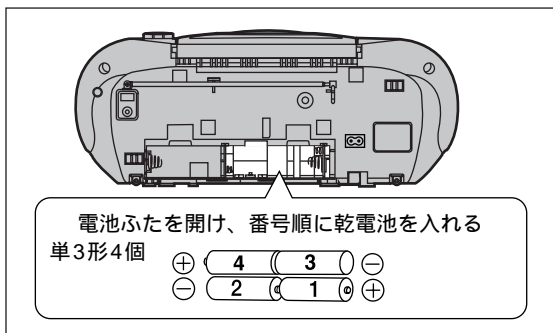
音がひずんだり、正常に動作しないときは、乾電池を6個とも交換してください。

録音などの前には乾電池を6個とも交換することをおすすめします。

メモリー用乾電池（別売り）

CDの予約内容や記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、メモリー用乾電池をお使いになることをおすすめします。

メモリー用乾電池を使用していないと、以下のときメモリーが消えます。

- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- 乾電池（単1形6個）で使用中に、コンセントに接続していない電源コードを本体に差し込んだとき

■乾電池を取り出すときは

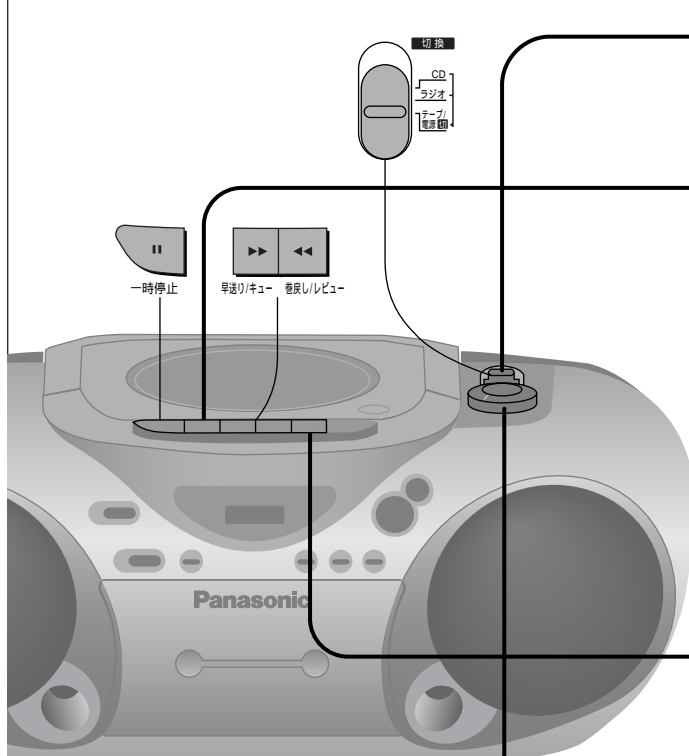
番号4の乾電池の⊖側を押してください。

■乾電池の交換

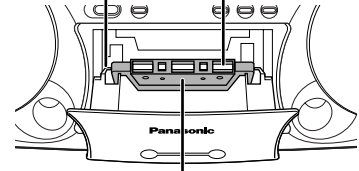
- 乾電池の寿命は約1年です。
- メモリーが消えないよう、電源コードをコンセントと本体に接続してから、乾電池を交換してください。

お願い

メモリー用乾電池の消耗を防ぐために、電源コードは電源を切ってから抜いてください。

テープを聞く

❶ **切換 つまみを「テープ／電源㊐」に合わせる**

❷ **■/≜（停止/取出し）押してカセットふたを開けテープを入れる**

テープはガイドに沿わせて　テープが見える方を上に

再生を始める面を手前に

●カセットふたは手で閉めます。

❸ **►（再生）押して演奏を始める**

TAPE

❹ **音量 回して音量を調節する**

正しく再生できるテープ

NORMAL POSITION（ノーマル ポジション）／TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION（ハイ ポジション）／TYPE Ⅱ	×
METAL POSITON（メタル ポジション）／TYPE Ⅳ	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うことはできますが、その特性を活かすことはできません。

早送り、早戻しをする	
►► ◄◄ 早送り/キュー 巻戻し/レビュー	停止中に押す。
聞きたいところを探す	
►► ◄◄ 早送り/キュー 巻戻し/レビュー	再生中に押す。 指を離すと再生に戻ります。
一時停止する	
❚❚ 一時停止	再生中に押す。 再び再生するには、もう一度押す。

■フルオートストップ機能について

再生中・録音中または早送り・巻き戻し中、テープ終端にくると自動的に停止し、電源も切れます。

演奏を止めるには：

■/≜（停止/取出し）**押す**

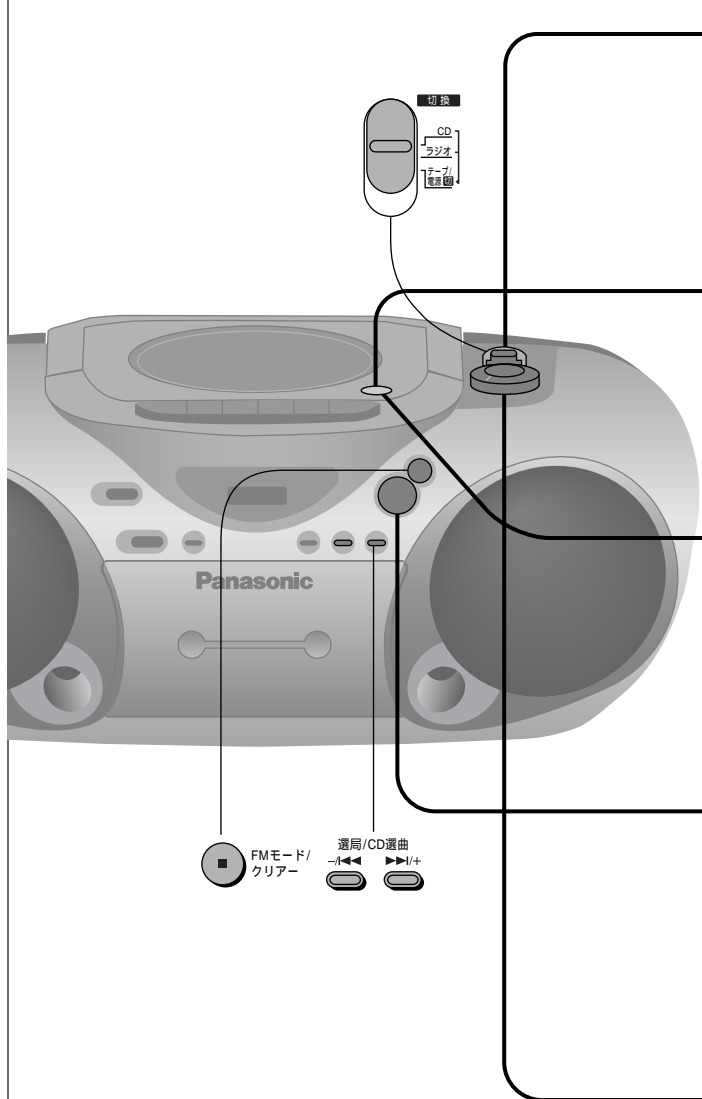
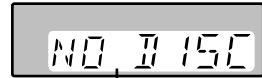
● 電源も切れます。

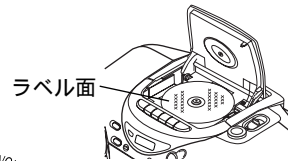
お知らせ

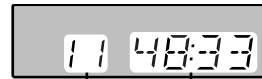
●一時停止しても電源は切れません。長時間放置するときは ■/≜（停止/取出し）を押して電源を切ってください。

お願い

●早送り・巻き戻し中に ►（再生）を押さないでください。テープが回転部に巻き込まれる恐れがあります。必ず ■/≜（停止/取出し）を押して早送り・巻き戻しを止めてから ►（再生）を押してください。

CD を聞く

1 切換 つまみを「CD」に合わせる
電源が入ります。

NO DISC
CDが入っていないことを表しています。

2 CD OPEN/CLOSE ⏏ 押して CDふたを開き、CDを入れる

ラベル面

3 CD OPEN/CLOSE ⏏ 押して CDふたを閉める
CDの総曲数と総演奏時間が表示されます。

11 48:33
CDの総曲数　総演奏時間

4 FM/AM ►/II 押して演奏を始める
最終曲まで演奏して自動的に停止します。

1 0:01
演奏中の曲番　演奏経過時間

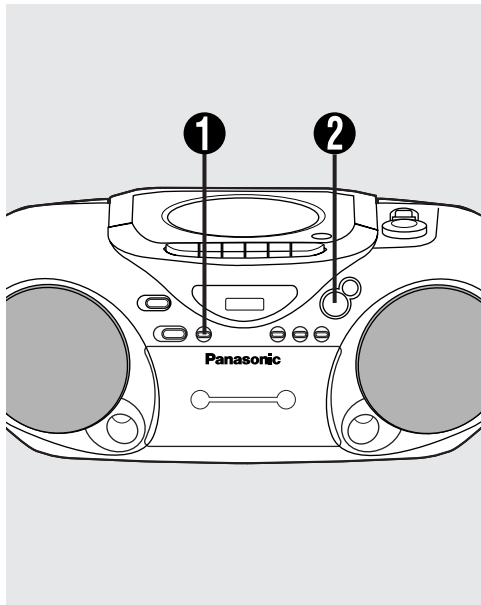
5 音量 回して音量を調節する

演奏を止めるには：
■ FMモード/クリアー **押す**

曲を飛び越すには（スキップ）	
選局/CD選曲 –/◄◄ ►►/+	飛び越す回数だけポンポンと押す。 再生位置 2回 1回 1回 2回 トラック トラック トラック [–/◄◄] [►►/+]
早送り、早戻しをする（サーチ）	
選局/CD選曲 –/◄◄ ►►/+	演奏中または一時停止中に長押しする。
一時停止する	
FM/AM ►/II	演奏中に押す。 再び演奏するには、もう一度押す。

お願い
- 演奏中、一時停止中、またはCDを入れてCDふたを閉めた直後に[CD OPEN/CLOSE ⏏]を押さないでください。CDに傷が付く恐れがあります。
- 他の機器（ラジオ・テレビなど）に雑音が入ったら、できるだけ本機を他の機器から離してご使用ください。
- ハート形など、特殊形状のCDは使えません。

CD を聞く

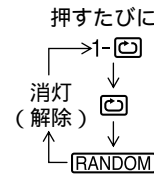
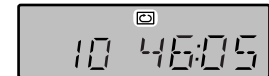
繰り返し聞く（リピート演奏）

❶ 選局モード/CDプレイモード 押して

“ 1-🔁 ”または“ 🔁 ”を点灯させる

“ 1-🔁 ”：1 曲を繰り返すとき（1曲リピート）

1-🔁 10 46:05

“ 🔁 ”：全曲を繰り返すとき（全曲リピート）

🔁 10 46:05

❷ **演奏前のときは FM/AM ►/II 押して**

演奏を始める

“ 1-🔁 ”のときは演奏している曲を繰り返します。

■ 好みの数曲を繰り返すには

① 9ページの手順 ❷ 〜 ❹ で好みの曲を予約する

② 選局モード/CDプレイモード を押して、“ 🔁 ”を点灯させる

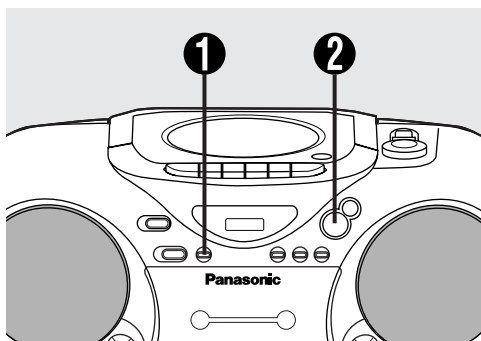
③ FM/AM ►/II を押して、演奏を始める

■ 解除するには

“ 1-🔁 ”“ 🔁 ”または“ RANDOM ”の表示が消えるまで 選局モード/CDプレイモード をポンポンと押す。

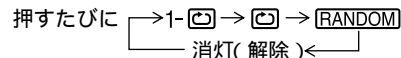
お知らせ

● リピート演奏は、メモリー用乾電池を入れないで電源コードを抜いたときや、[CD OPEN/CLOSE ⏏]を押してCDふたを開いたとき解除されます。

順不同に聞く（ランダム演奏）

❶ 選局モード/CDプレイモード 押して

“ RANDOM ”を点灯させる

押すたびに →1-🔁 → 🔁 → RANDOM → 消灯（解除）

❷ **演奏前のときは FM/AM ►/II 押して**

演奏を始める

全曲を順不同に演奏した後、停止します。

■ 解除するには

選局モード/CDプレイモード 押して、“ RANDOM ”を消す。

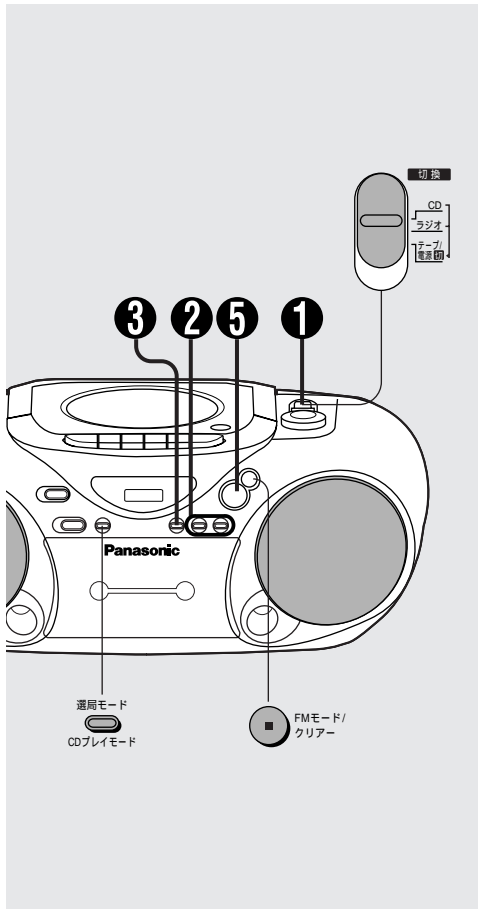
お知らせ

● ランダム演奏とプログラム演奏を組み合わせて使用することはできません。

● ランダム演奏中は、–/I◄◄ を押してスキップできません。►►I/+ を押してスキップはできます。

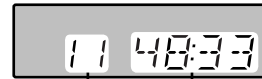
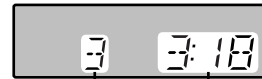
● ランダム演奏中の早送り、早戻しは演奏中の曲の中でだけできます。

● ランダム演奏は、メモリー用乾電池を入れないで電源コードを抜いたときや、[CD OPEN/CLOSE ⏏]を押してCDふたを開いたとき解除されます。

好みの曲を予約順に聞く（プログラム演奏）

最大24曲まで予約できます。

準備：“1-⟲”、“⟲”および“RANDOM”が点灯していたら、[選局モード/CDプレイモード]を押して表示を消してください。

❶ 切換 つまみを「CD」に合わせる

CDの総曲数と総演奏時間が表示されます。

❷ [選局/CD選曲 –/⏮] [⏭/+] 押して予約したい曲番を表示させる

❸ [メモリー] 押して予約する

予約した曲番と予約順（約1秒）が表示されます。

❹ 手順❷、❸をくり返して続けて予約する（最大24曲まで）

❺ [FM/AM ▶/II] 押す

予約順に演奏し、自動的に停止します。

■ プログラムの内容を取り消すには

停止中に[■ FMモード/クリアー]を押すと、下図のように表示が点灯し、予約曲がすべて取り消され、プログラム演奏も解除されます。

■ “ -- --:-- -- ” と表示されたら

予約曲の合計演奏時間が100分以上になりました。ただし、予約や演奏はできます。

■ “ FULL ” と表示されたら

すでに24曲予約されています。これ以上予約できません。

■ 予約内容を確認するには

プログラム演奏中に[■ FMモード/クリアー]を押すか、または演奏が終了すると、下図のように表示が点灯し、予約内容が記憶されていることを表します。

この状態で以下のことができます。
停止中に

- [FM/AM ▶/II]を押して、予約した順に演奏する。
- [選局/CD選曲 –/⏮] [⏭/+]を押して、予約内容を確認する。（押すたびに、曲番と演奏順が表示されます）

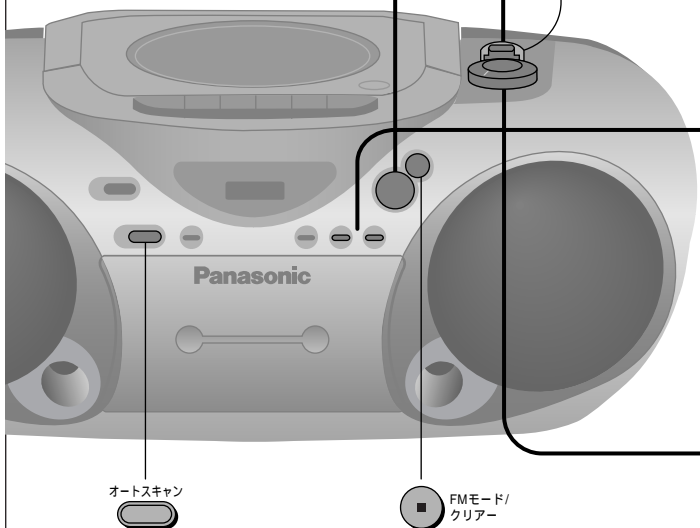
お知らせ

- 予約内容を確認するためプログラム演奏中に[■ FMモード/クリアー]を押した後、再び演奏を開始すると、プログラムの最初の曲より演奏が始まります。
- 演奏を止めたり、電源を切ったときでも、予約内容は記憶されています。
- 演奏中はプログラムできません。
- プログラム演奏は、メモリー用乾電池を入れないで電源コードを抜いたときや、[CD OPEN/CLOSE ⏏]を押してCDふたを開いたとき解除されます。

ラジオを聞く

テレビ音声（1～3チャンネルのみ）は、FMで受信します。

■本機のTV受信回路について

FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルにFMが混信することがあります。

❶ 切換 つまみを「ラジオ」に合わせる

電源が入ります。

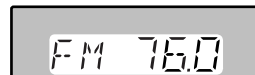
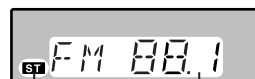
❷ FM/AM ►/II 押して“FM”または“AM”を選ぶ

押すたびに：　FM↔AM
TV音声（1～3ch）を聞くときは、FMを選びます。

FM 76.0

❸ 選局/CD選曲 –/I◄◄ ►►I/+ 押して放送局を選ぶ

ST FM 88.1

ステレオ放送を受信すると点灯　周波数

● TV音声1～3chの位置

76.0～90.0MHz—**TV1ch—TV2ch—TV3ch**

❹ 音量 回して音量を調節する

MIN　MAX

■自動選局するには（オートチューニング）

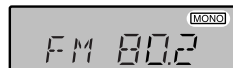
選局/CD選曲 –/I◄◄ ►►I/+ 押し続け、周波数が動き始めたら指を離す。
（最初に受信した放送局で周波数が自動停止します。）

自動選局を止めるには

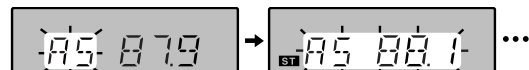
もう一度 選局/CD選曲 –/I◄◄ ►►I/+ 押す。

■ FMステレオ放送で雑音が多いときは

■ FMモード/クリアー 押して、“ MONO ”を点灯させる

MONO FM 80.2

● モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
● 通常は“ MONO ”を消灯させておいてください。

■ オートスキャンについて

オートスキャン を押すと周波数が動き始め、受信される各放送局の音を約8秒ずつ聞きながら好みの放送局を捜すことができます。

聞きたい放送局のところで

もう一度 オートスキャン を押して止める。

● オートスキャンは、始めたときの周波数に戻ると自動的に終了します。
● 途中で止めたいときは、もう一度 オートスキャン を押す。

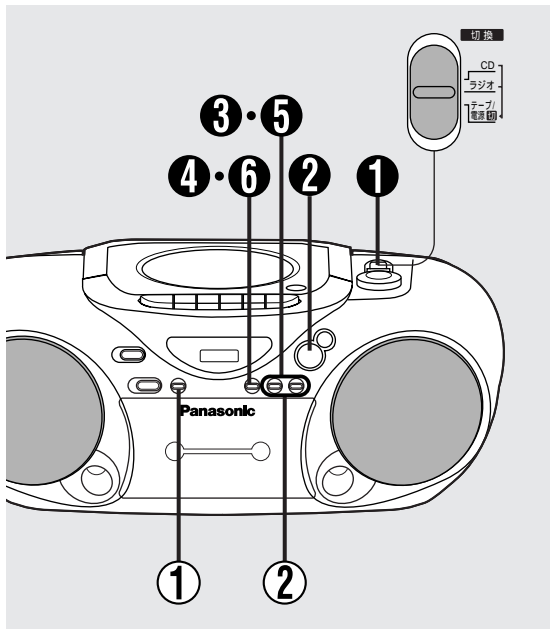
■受信状態がよくないときは

FM：ホイップアンテナの長さと向きを調節する
AM：本体の向きを調整する

お知らせ

● AMとテレビの音声はモノラルになります。
● オートチューニング時、周波数に妨害電波があると放送局を受信せずに周波数が停止することがあります。
　その場合は、選局/CD選曲 –/I◄◄ ►►I/+ をポンポンと押して、選局してください。
● 乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

放送局を記憶させて聞く（プリセット選局）

放送局を記憶させておくと、次から簡単に選局できます。
- FM（TV1～3chを含む）、AM、各12局まで記憶させることができます。
- FMの放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてください。

記憶させる

❶ 切換 つまみを「ラジオ」に合わせる

電源が入ります。

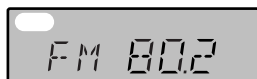
❷ FM/AM ►/II 押して“FM”または“AM”を選ぶ

押すたびに： FM↔AM
TV音声（1～3ch）を記憶させるときは、FMを選びます。

FM 76.0

❸ 選局/CD選曲 –/◄◄ ►►I/+ 押して放送局を選ぶ

このとき“PGM”が消灯していることを確認してください。（右記の手順①）

FM 80.2

お知らせ

オートチューニング（⇨10ページ）を使って放送局を自動で選ぶこともできます。

❹ メモリー 2回押す

“PGM”とプリセットチャンネルが点滅します。
（約10秒間）

PGM ST FM 3
プリセットチャンネル

❺ “PGM”とプリセットチャンネルの点滅中に 選局/CD選曲 –/◄◄ ►►I/+ を押してプリセットチャンネル（1～12）を選ぶ

❻ メモリー 押す

放送局の記憶が完了し、元の表示に戻ります。
メモリーの途中で“PGM”が消えたときは、手順❹からやり直してください。
これでプリセットが完了です。

■ 続けて他の放送局を記憶させる時は ❸から❻をくり返す

聞く

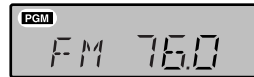
① 選局モード CDプレイモード 押して“PGM”を表示させる

押すたびに：
PGM（放送局を記憶させて使うとき）
↕
消 灯（放送局を記憶させないで使うとき）

PGM FM 76.0

② 選局/CD選曲 –/◄◄ ►►I/+ 押してプリセットチャンネルを選ぶ

■ プリセットスキャンについて

手順②にて 選局/CD選曲 –/◄◄ ►►I/+ を押し続けるとプリセットチャンネルが変わり始め、そこで指を離すとプリセットされた放送局の音を約8秒ずつ聞きながら好みの放送局を捜すことができます。

聞きたい放送局のところで

もう一度 選局/CD選曲 –/◄◄ ►►I/+ を押して止める。
- プリセットスキャンは、プリセット済みのチャンネルを一度スキャンすると自動的に終了します。
- 途中で止めたいときは、もう一度 選局/CD選曲 –/◄◄ ►►I/+ を押す。

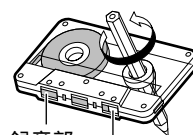
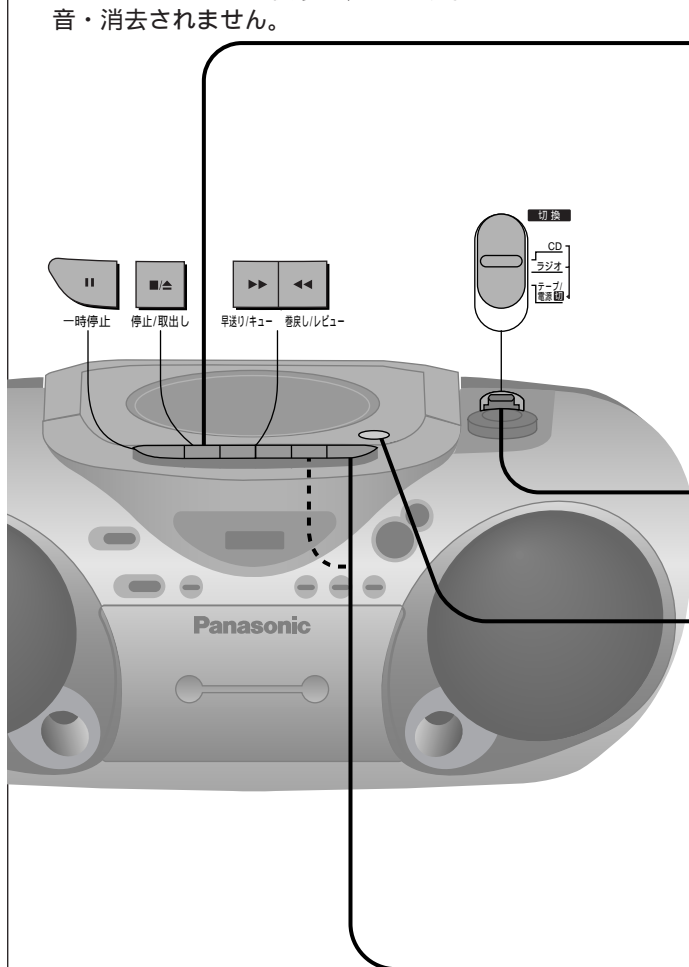
CD を録音する

正しく録音できるテープ

NORMAL POSITION ／TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION ／TYPE Ⅱ	×
METAL POSITON ／TYPE Ⅳ	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音・消去されません。

準備：

- **テープのはじめから録音するとき**
  録音できないリーダーテープ（色の違う部分）を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。
- **テープの途中から録音するとき**
  テープを聞いて録音を始める位置を頭出ししておきます。

❶ ■/≜（停止/取出し）押して カセットふたを開け

テープを入れる

- カセットふたは手で閉めます。

❷ 切換 つまみを

「CD」に合わせる

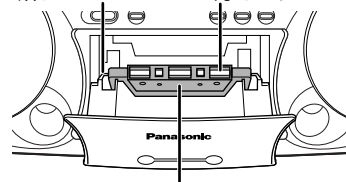
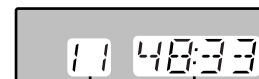
電源が入ります。

❸ CD OPEN/CLOSE ≜ 押して CDふたを開き、

CD を入れる

- CD OPEN/CLOSE ≜ 押してCD ふたを閉める。

CDの総曲数と総演奏時間が表示されます。

❹ ●（録音）押して

録音を始める

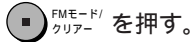
►（再生）も同時に押し込まれ、CDの演奏が始まります。
テープの手前の面だけ録音して停止します。

録音時の音量・音質について

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- 録音中に音量や音質を変えても、録音されるテープには影響しません。

■ **録音を止めるには**

押す

- CDは止まりません。CDを止めるには ■ FMモード/クリアー を押す。

■ **録音を一時停止するには**

押す

- CDは止まりません。
- **録音を再開するには、もう一度押す。**

■ **CD の演奏が先に終わると**

CDは止まりますが、テープは録音を続けます。

■/≜ 停止/取出し を押して、テープを止めてください。

■ **テープの録音が先に終わると**

録音は止まりますが、CDは演奏を続けます。

■ FMモード/クリアー を押して、CDを止めてください。

■ **続けてテープの反対の面に録音するときは**

① ▶▶I/+ を押して、CDの途切れた曲の頭出しをする

② リーダーテープを送り出した後、テープの録音する面を手前に入れ換えて ● 録音 を押す

■ **好みの曲を録音するには**

手順 ❹ の前で好みの曲を予約（➪ 9ページ「プログラム演奏」の手順 ❷ ～ ❹ ）した後、

を押す。

ラジオを録音する

❶ ■/≜ 停止/取出し **押して カセットふたを開け**

テープを入れる

- カセットふたは手で閉めます。

❷ **録音したい放送局を選ぶ**

（➪ 10ページの手順 ❶ ～ ❸
または➪ 11ページの手順 ① と ②）

❸ ● 録音 **押して 録音を始める**

▶ 再生 も同時に押し込まれ、録音が始まります。

片面だけ録音して停止します。

■ **録音を止めるには**

■/≜ 停止/取出し **押す**

■ **録音を一時停止するには**

॥ 一時停止 **押す**

- **録音を再開するには、もう一度押す。**

CDを録音する

使いかた

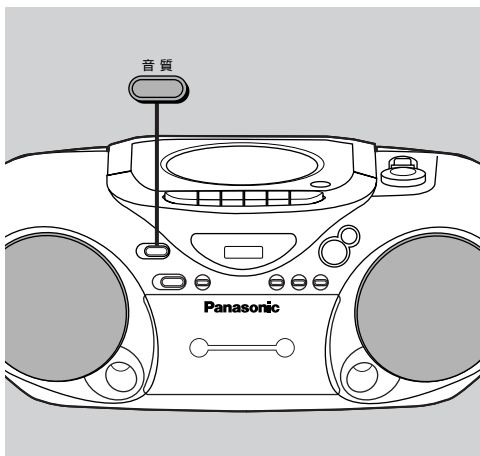
ラジオを録音する

お知らせ

- ツメの折れたテープでは録音できません（➪ 4ページ）。

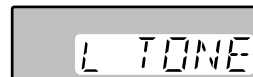
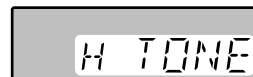
- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
- 録音中に、本機とテレビを近付けると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。

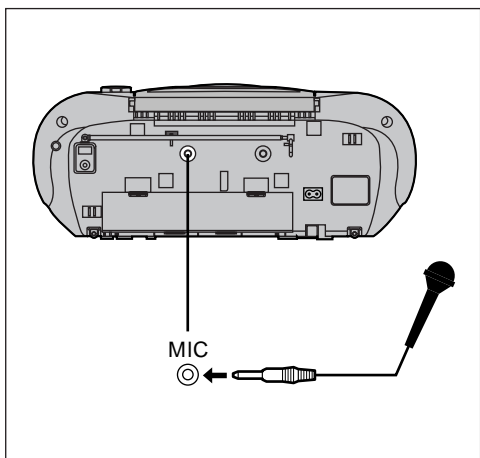
音質を切り換える

押す

押すたびに：

“H TONE（ハイトーン）”（高音を強調した音になる）

↕

“L TONE（ロートーン）”（高音を抑えた音になる）

高音部が強すぎて聞きづらいと感じたときは
音質を切り換えて（上記）聞きやすいようにしてください。

マイク（別売り）を使う

プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
推奨品（別売り）：RP-VK45
RP-VK35
RP-VK25

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響しません。
- 音声多重のテープやCD を使っても、歌手の声を消すことはできません。
- CD でカラオケをしているときは、CD の演奏中のみ音声が出ます（停止、一時停止中にはマイクの音声は出ません）。
- マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

接続するときは、音量を下げてください。

■ カラオケを楽しむには

①マイクを接続する
②CD やラジオ、テープを再生する
③カラオケを始め、音量を調節する

■ カラオケを録音するには

①マイクを接続する
②デッキにテープを入れる
③CD を入れ、好みの曲を選ぶ
④ 録音 を押してカラオケを始める

再生 も同時に押し込まれ、録音を開始すると同時にCD の演奏が始まります。

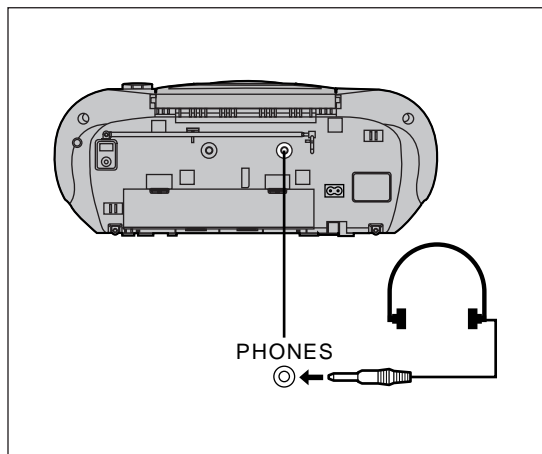
■ マイクから録音するには

①マイクを接続する
② **切換** つまみを**「テープ／電源 切」**に合わせる
③デッキにテープを入れる
④ 録音 を押す

再生 も同時に押し込まれ、録音が始まります。

■ 本機を拡声器として使うには

①マイクを接続する
② **切換** つまみを**「テープ／電源 切」**に合わせる
③デッキにテープの入っていない状態で 再生 を押す
④音量を調節する

ヘッドホン（別売り）で聞く

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品（別売り）：RP-HT242（密閉型）
RP-HT29
（小型軽量オープンエア型）

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

お手入れ

■ 本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ CD を良い音でお楽しみいただくために

専用クリーナーで、レンズを時々清掃されることをおすすめします。
推奨品（別売り）：CDレンズクリーナー
（品番：RP-CL510）

■ テープの音を、よい音でお楽しみいただくために

定期的にクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

海外で使うときは

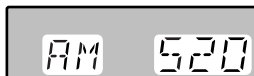
AM放送の受信

北米、中南米、東南アジアの一部の地域で使うには、周波数ステップを9 kHzから10 kHzに切り換えます。

10 kHzに切り換えるには

“FM”表示中に、周波数が下図のようになるまで、

FM/AM ►/II 押し続ける。（約10秒間）

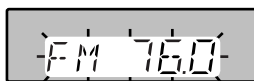
・約5秒後……点滅を始める
・約10秒後…10 kHzに切り換わったら（“522”→“520”）

ボタンから指を離す
元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

FM放送の受信

海外（一部の地域を除く）で使うには、周波数ステップを0.1 MHzから0.05 MHzに切り換えます。

0.05 MHzに切り換えるには

“AM”表示中に、周波数が下図のようになるまで、

FM/AM ►/II 押し続ける。（約10秒間）

・約5秒後……点滅を始める
・約10秒後…0.05 MHzに切り換わったら（“76.0”→“87.50”）

ボタンから指を離す
元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

お知らせ

- ステップを切り換えると、プリセットチャンネルの記憶は消えます。（⇨ 11ページ）

お願い

海外では、電源電圧が異なりますので、電池でお使いください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	処置	参照ページ
CD	**演奏が始まらない。曲数などの表示が出ない。**	寒いところから急に暖かいところへ持ってきたなど、急激な温度変化がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	
テープ	**録音できない。**	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。	4
テープ	**雑音が多い。音質がよくない。**	ヘッドが汚れていませんか。	クリーニングテープを使って清掃する。	15
テープ	**カセットテープが取り出せない。**	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池または家庭用電源を使用し、「▶ 再生」を押したあと「■ / ⏏ 停止／取出し」を押す。	6
ラジオ	**雑音が入る。**	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	他の機器のリモコンを離す。	
ラジオ		テレビと同時に使用していませんか。	テレビから離す。またはテレビの電源を切る。	
ラジオ	**“FM”表示が出ない。**	TV音声を受信していませんか。	−/⏮ または ⏭/+ を押してFMの周波数を変える。	10
“U01”が表示された。		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池または家庭用電源を使用する。	5

著作権について

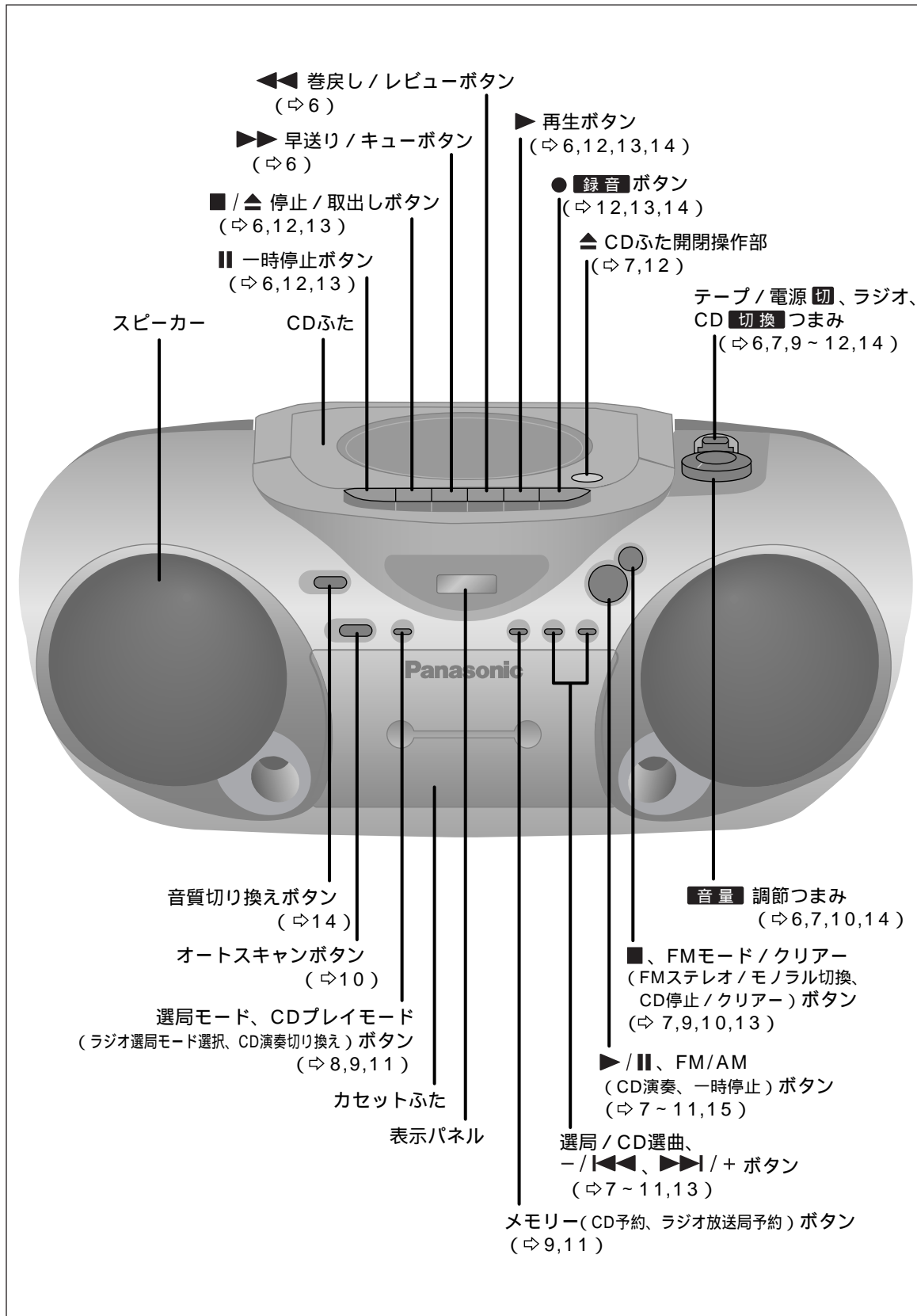
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部……………………☎ (03) 3481-2121
北海道支部……………☎ (011) 221-5088
盛岡支部………………☎ (019) 652-3201
仙台支部………………☎ (022) 264-2266
長野支部………………☎ (026) 225-7111
大宮支部………………☎ (048) 643-5461
上野支部………………☎ (03) 3832-1033
東京支部………………☎ (03) 3562-4455
西東京支部……………☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部‥☎ (03) 5286-1671
立川支部………………☎ (042) 529-1500
横浜支部………………☎ (045) 662-6551
静岡支部………………☎ (054) 254-2621
中部支部………………☎ (052) 583-7590
北陸支部………………☎ (076) 221-3602
京都支部………………☎ (075) 251-0134
大阪支部………………☎ (06) 6244-0351
神戸支部………………☎ (078) 322-0561
中国支部………………☎ (082) 249-6362
四国支部………………☎ (087) 821-9191
九州支部………………☎ (092) 441-2285
鹿児島支部……………☎ (099) 224-6211
那覇支部………………☎ (098) 863-1228

各部のなまえ

◀◀ 巻戻し／レビューボタン
（⇨6）
▶▶ 早送り／キューボタン
（⇨6）
■/⏏ 停止／取出しボタン
（⇨6,12,13）
❚❚ 一時停止ボタン
（⇨6,12,13）
スピーカー
CDふた
▶ 再生ボタン
（⇨6,12,13,14）
● 録音 ボタン
（⇨12,13,14）
⏏ CDふた開閉操作部
（⇨7,12）
テープ／電源 切 、ラジオ、
CD 切換 つまみ
（⇨6,7,9〜12,14）
Panasonic
音質切り換えボタン
（⇨14）
オートスキャンボタン
（⇨10）
選局モード、CDプレイモード
（ラジオ選局モード選択、CD演奏切り換え）ボタン
（⇨8,9,11）
カセットふた
表示パネル
音量 調節つまみ
（⇨6,7,10,14）
■、FMモード／クリアー
（FMステレオ／モノラル切換、
CD停止／クリアー）ボタン
（⇨ 7,9,10,13）
▶/❚❚、FM/AM
（CD演奏、一時停止）ボタン
（⇨ 7〜11,15）
選局／CD選曲、
−/|◀◀、▶▶|/＋ ボタン
（⇨7〜11,13）
メモリー（CD予約、ラジオ放送局予約）ボタン
（⇨9,11）

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

１6ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、 切換 つまみを**「テープ／電源 切」**にし、テープの停止を確認後、電源プラグを抜き、お買上げの販売店へご連絡下さい。

● **保証期間中は**
保証書の規定に従って、お買上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参下さい。

● **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ポータブルステレオCDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（この期間は通商産業省の指導によるものです。）
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー

フリーダイヤル（料金無料） **0120-878-365**（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ　パナ）

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0900

主な仕様

ラジオ

受信周波数
- **FM**：76.0 ～90.0 MHz,TV 1 ch～ 3 ch（0.1 MHzステップ）
  ：87.5 ～108.0 MHz（0.05 MHzステップ）
- **AM**：522 ～1629 kHz（9 kHzステップ）
  ：520 ～1710 kHz（10 kHzステップ）

テープレコーダー

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：マグネット消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター
周波数範囲
（ノーマルポジション）：50 ～12000 Hz（EIAJ）

CD プレーヤー

標本化周波数：44.1 kHz
量子化：16 ビット直線
光源：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
DA コンバーター：1 ビット DAC

メモリー

電源：DC 6 V、（単 3 形乾電池 4 個）
電池持続時間：約 1 年間
（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）

共通

スピーカー：10 cm 丸形 4.0 Ω 2 個
入力端子
MIC：M3 モノラル
出力端子
PHONES：M3 ステレオ （32 Ω）
実用最大出力（DC時）：2 W ＋ 2 W（EIAJ）
電池持続時間
ラジオカセット部：約 30 時間（EIAJラジオ録音時）
約 16 時間（EIAJ音楽再生時、音量つまみMAXに対し3/4程度）
CD 部：約 11 時間 30 分（CD連続録音時）
約 10 時間 30 分（CD連続演奏時）
（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R20PU使用時）
電源
電灯線：AC 100 V、50/60 Hz
乾電池：DC 9 V、（単 1 形乾電池 6 個）
・乾電池の代用として充電式電池を使わない。
消費電力：AC 12 W
最大外形寸法
（幅×高さ×奥行）：420×167×275 mm（EIAJ）
質量：約 3.4 kg（乾電池なし）
：約 4.1 kg（乾電池を含む）

注）● 乾電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

切換 つまみを「テープ／電源 切」に合わせて電源を切った時の消費電力：0.9 W（ACのとき）

愛情点検　長年ご使用のポータブルステレオCDシステムの点検を！

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	RX-D12
販売店名	☎（　　）　―	お客様ご相談窓口	☎（　　）　―

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

Ⓒ Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社） 2001

RQT5684-S
M0101YN0